

# ひょうご 県知協 NEWS

〈兵庫県知的障害者施設協会機関紙〉

発行 一般社団法人  
兵庫県知的障害者施設協会  
〒651-0062  
神戸市中央区坂口通 2 丁目 1-1  
兵庫県福祉センター5階 502 号室  
TEL (078) 862-6026  
FAX (078) 862-6082  
E-mail: hyogo-kenchikyo@dance.ocn.ne.jp  
発行責任者 蓬 菜 和 裕  
印刷所 交友印刷株式会社

## 障害者福祉の新たな動き

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会 会長 蓬 菜 和 裕



障害者福祉を取り巻く新たな動きについて、少しお話をしたいと思います。まず、1つ目は、社会福祉法の改正にともなう社会福祉法人制度の見直しです。改革案では、「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取り組みを実施する責務」、「行政の関与の在り方」の5項目があげられています。中でも、財務規律の強化では、引当金の具体的な用途について、社会福祉事業又は公益事業への再投下計画を表さなければなりません。各法人においては、中長期計画の作成が必要不可欠なものとなります。「行政の関与の在り方」は、所轄庁の指導監査の機能強化と国・都道府県・市の連携の推進を意味しています。現在、兵庫県におきましても、「社会福祉法人指導指針検討会」が開催され、各種別の代表と公認会計士等で検討が行われています。当協会からは蓬菜が参加しています。ご意見等がありましたらお聞かせください。

2つ目は、障害者差別解消法の関係です。障害者差別解消法は2018年4月1日に施行されます。現在、兵庫県においては、障害者差別解消法の施行に向け、県条例の作成について検討が進んでいます。この法律は国や行政機関、地方公共団体等及び民間事業者が対象となります。私たちが実施している事業も事業者としてこの法律の対象となります。事業者に問われるのは「合理的配慮」です。法律では、合理的配慮は行政には「義務化」、民間事業者には「努力義務」となっています。しかし、社会福祉法人が障害者に提供するサービスにおいては、努力義務は通用しないと思います。協会としても今後、職場における合理的配慮について検討を進めていきたいと考えています。

3つ目は、虐待の問題です。7月に行いました施設長研修では、私たちが想像していた以上の方々に参加されました。改めて、皆さんの虐待防止への関心の高さを感じました。本年度の「福祉の集い」のテーマも虐待としました。7月の施設長研修終了後、多田弁護士から「虐待をなくすのは難しいことです」と言われました。私も同感です。人は間違いを起こします。「私の事業所は大丈夫」ではなく「いつ発生しても不思議ではない」という観点に立って、虐待の問題を職員全体の問題として取り組んでください。本年度、権利擁護委員会の事業として、虐待防止研修を希望される施設に訪問し、職員に虐待防止の研修を実施していま

す。万が一、不幸にも虐待が発生した場合には、是非ご連絡ください。再発防止に向けて、皆で考えていきたいと思えます。

4つ目は人材確保の問題です。「新たな事業を開始したが職員が集まらない」という声を良く耳にします。高齢者福祉における介護職や保育士不足の問題は社会問題として取り上げられ、色々な対策が打ち出されていますが、職員不足は一向に好転しません。障害者分野における支援員は介護職の中に包含され、現場の深刻な現状が伝わり難い状況におかれ職員確保の問題は深刻です。本年度、県への政策提言において、障害者分野における人材確保の問題を提言しました。人材不足の原因には、新規採用と職員の定着率の課題があります。これまで、障害者福祉の現場では取り組まれなかった、人事管理の必要性を強く感じています。協会としても研修等で人事管理について取り組んでいきたいと考えています。

平成 27 年度

## 日中活動支援部会施設長及び職員研修会

報告者：塩尻 点（たまも園 施設長）

平成 27 年 8 月 6 日（木）に日中活動支援部会施設長及び職員研修会を兵庫県中央労働センターにて県下会員事業所から 72 名の参加をいただき開催いたしました。昨年度のアンケートにおいて具体例や実践例をもっと知りたいという現場での関心の高さを示すご意見が多数あり、本年度も引き続き、「自閉症者への支援の在り方」をテーマといたしました。

講演に先立ち、兵庫県障害福祉課福祉政策班班長斉藤信広様、障害者支援課主幹向田憲司様により「行政報告」が行われました。相談支援従事者研修の現状、障害者虐待防止、介護給付費算定に関する事項等、私たちが取り組むべき貴重な情報について説明を受けました。

引き続き、流通科学大学人間社会学部人間健康学科教授藤本次郎様より「自閉症者への支援の在り方」と題してご講演をいただきました。藤本様は当会との繋がりも深く、支援者としての基本的姿勢から実際の支援場面での技術にわたり多くのエッセンスを示して下さいました。

藤本様ご自身が支援者として現場で仕事をしてきた実践にもとづいた提言、現場で悩みながらも日々支援業務に臨む私たちに対しての厳しくかつ温かいエールをしっかりと受け止めることができました。





神戸市知的障害者施設連盟

事務局長 正心 徹

(グリーンホーム平成 施設長)

今年度の神戸市知的障害者施設連盟の動きは、役員的大幅な増員と一部の役員交代からスタートいたしました。陽気会の松端総合施設長が 2 期目の会長に就任し、職員部会においても森井部会長の後任として、ライフセンター神戸の白坏支援員が職員部会長に就任しました。

今年度の事業は、例年通りの流れで、制度学習や事業所見学等の研修事業、障害者スポーツへの協力事業、制度政策への要望活動等、順調に進んでいます。

連盟では、昨年度より組織整備を続けているところです。今年度は、事業の実効性を高めるため、役員会の開催頻度を増やし、部会及び委員会の整備に重点を置いています。さらに、社会福祉法人の今後について、より一層の連携を深めたく、現在連盟を構成する、48 会員事業所の所属法人の代表者に集まっていただき、連絡会を開催する予定にしています。

本年 10 月からは、マイナンバー制度がスタートします。連盟では、9 月 2 日と 8 日に「マイナンバー制度基礎研修会」を神戸市の協力を得て 2 回開催し、約 100 名の役職員の参加を得ました。さらに、実務的な内容に踏み込んだ「仮称：専門研修」を開催すべく、企画中です。なお、これらの研修資料は、順次ホームページに掲載の予定です。

神戸地区職員部会の動きについては、以下の一覧をご参照ください。

### 1. 全体

- ①神戸市知的障害者施設連盟役員会、及び施設長会への出席
- ②「共に歩む会」引率チームのサッカー大会、ソフトボール大会への送迎広報
- ③5 月 19 日 神戸市退職共済・福利厚生事業運営委員会出席
- ④5 月 22 日 職員部会担当者会議（総会）／総会、講演

神戸市手をつなぐ育成会会長後藤久美子氏 テーマ「支援者のあり方について」

### 2. 研修委員会

- ①7 月 9 日 看護師、栄養士、支援員研修会／神戸聖隷福祉事業団 但馬地区施設見学（25 名参加）
- ②いたやど地域生活支援センターとの連携による研修会の打ち合わせ  
(12 月 8 日開催 講師：関西福祉科学大学・大学院 社会福祉学研究科・社会福祉学科教授 津田耕一氏)
- ③10 月、栄養士研修会開催予定（ホシザキ阪神株式会社 西神戸営業所）
- ④11 月、看護師研修会（2 回目）開催予定
- ⑤2 月、栄養士研修会（2 回目）開催予定

### 3. スポーツ委員会

- ①4 月 26 日 ボウリング選手選考記録会／全国障害者スポーツ大会和歌山大会の神戸地区選手選考記録会
- ②6 月 11 日 第 15 回全国障害者スポーツ大会出場選手選考会出席／代表 2 名が決定
- ③8 月～10 月 神戸地区ボウリング代表選手強化練習（8 回程度行う予定）
- ④11 月に職員による草フットサル大会開催予定
- ⑤2～3 月に利用者リレー大会開催予定

## 阪丹但地区の報告



会長 森 康祐  
(塚口福成園 施設長)

阪丹但地区は、今年度より役員（会長・監事）の一部交代からスタートしております。玉木前会長の後任として、福成会 塚口福成園の森が会長に就任させていただき、宮下前監事から宝塚あしたば園の竹内主幹が監事に就任しました。

今年度も阪丹但地区では、「福祉・介護従事者キャリアアップ研修事業補助金」の申請を利用して、職員の資質向上や交流・情報交換を目的とした様々な研修会を5回開催する予定にしています。

その中で、第1回目の管理職・中堅職員研修として5月号で700号を迎えた月刊誌「さぼーと」（前「愛護」）の編集出版企画委員会委員長の福田和臣氏（社会福祉法人愛心福祉会理事長）をお迎えして、『さぼーと誌からみえる最近15年間の障がい福祉の変遷とこれから』を8月4日に三田市総合福祉保健センターで開催しました。措置から支援費制度、障害者総合支援法へ専門的指導誌としての「さぼーと」から見た変化、ご自身から見た障害福祉の流れや経験談を踏まえながらのご講演をいただき、参加者にとってはこれからの障害福祉のあり方を考える材料としては十分な研修となりました。

次回は、10月に支援員研修として『高齢知的障害者支援の在り方を考える』講師に植田章氏（佛教大学社会福祉学部教授）をお迎えする予定となっております。どの施設や事業所においても重要課題の1つでもある、知的障害をもつ方たちの高齢化に伴う身体的・精神的機能の低下をどのように捉えて支援するのかについて、新たな視点や知識を与えていただける内容になると思います。

その後も11月頃に支援員研修『（仮称）支援者が求められることとは』、1月頃に事務員研修として『（仮称）内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下について考える』、そして3月頃は支援員研修に『（仮称）自閉症支援・公開事例発表会』と、各職種にあった課題や関心のある内容に参加していただけるような企画をしております。是非ともこの機会を利用していただき、私たちと一緒に知識と意欲の向上に活用していただければと思います。（定員との兼ね合いもありますが、県知協加盟の施設・事業所にも研修会のご案内をする予定です。）



 播淡地区の報告職員代表者会 会長 細木 義浩  
(ふるさと寮 サービス管理責任者)

播淡地区では、今年度もスポーツ・研修・研究・文化の四事業で企画から運営までを円滑に実施出来るように、各委員で責任を持って頑張ってもらっています。早速ですが、平成 27 年度事業の進行状況を報告させていただきます。

## ①スポーツ委員会

平成 27 年 6 月 6 日（金）加古川運動公園陸上競技場にて参加者 1148 名と多数の参加を頂く中で、第 27 回ばんたん親善運動会を開催致しました。昨年は天候に恵まれず、今年こそという思いで、当日を迎えました。プログラム前半の途中から雨が降り出し、会場全体が悔しい気持ちでいっぱいでしたが、止むを得ずそこで終了するという運びになりました。委員では、気持ちを切り替えて、次年度実施の内容（屋内での実施や日時の変更等）を検討している状況です。

## ②研修委員会

第 1 回目は平成 27 年 7 月 8 日（水）に兵庫県総合リハビリセンターにて研修会を開催致しました。参加者は 102 名と播淡地区外からも多数ご参加頂きありがとうございました。

「個別アセスメントに基づいた継続できるその人への関わり方～リハビリ専門職の活用について～」という内容で実施しました。OT / PT / ST のセラピスト自体についての理解、福祉用具の活用、また体験などを踏まえ、利用者の立場に立った時の気持ちやセラピストとの連携をどの様に行っていくのかなど、あらゆる方面からの考えや見方について勉強になったのではないかと考えております。

第 2 回目は平成 27 年 11 月 18 日（水）姫路市自治福祉会館で国立重度知的障がい者総合施設のぞみの園事業企画局研究部部長 志賀利一 氏をお招きし、「重度・高齢知的障がい者支援のベストプラクティス（最善の方法、プロセス、活動）を考える」という内容で実施予定ですので、是非参加して頂ければと思います。

## ③研究委員会

平成 27 年 8 月 26 日（水）～ 27 日（木）ニューサンピア姫路ゆめさきにて「第 29 回播淡地区施設長・職員一泊研修会」を開催。「時代の流れに合わせた現場の支援力をつける」というテーマで、播淡地区以外からも多くの方に参加して頂き、活発な研修や意見交換がなされました。播淡地区の活性化と情報交換・交流の場になったのではないかと考えております。

## ④文化委員会

平成 27 年 11 月 25 日（水）に第 24 回ばんたん・ゆうあい文化祭を姫路文化センターに於いて開催予定です。参加者は 1300 人以上にも上る予定ですが、昨年度の反省、また今までの実績を踏まえ、利用者の方々に安心、安全に楽しんで頂けるよう、企画・運営を目指しております。

以上、播淡地区職員代表者会 4 委員会の事業の進行状況として報告させていただきます。

《日誌抄》

4月	13日	監事監査第1回	神戸市	県知協事務局	
	15日	第1回役員会	神戸市	兵庫県福祉センター	
	21日	播淡地区総会	姫路市	姫路自治福祉会館	
	24日	神戸地区(市知連)総会	神戸市	楠公会館	
	27日	児童発達支援部会会合	神戸市	兵庫県福祉センター相談室	
	28日	阪丹但地区総会			
5月	8日	第9回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会事前説明会	神戸市	兵庫県福祉センター	
	14日	近畿地区第1回役員会=総会	神戸市	ANAクラウンプラザホテル神戸	
	16日	第9回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会(フライングディスク・卓球)			
	17日	第9回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会(水泳)			
	21日	県知協定期社員総会 役員懇親会	神戸市	兵庫県福祉センター 和風創作料理「黒十」	
	23日	第9回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会(陸上・ソフトボール・サッカー)	三木市	三木総合防災公園競技場	
	24日	第9回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会(ボウリング・バレー・バスケット)			
	26日	日本福祉協会第1回理事会	東京都	日本福祉協会会議室	
6月	3日	第1回正・副会長会	神戸市	県知協事務局	
	12日	第1回守る会(福祉7団体)打ち合わせ会	神戸市	県知協事務局	
	15日	児童発達支援部会会合	神戸市	兵庫県福祉センター相談室	
	16日	日本福祉協会定時評議員会/支援スタッフ委員会三地区意見交換会	東京都/神戸市	アジュール竹芝/県知協事務局	
	17日	近畿地区第1回政策委員会	大阪市	知福協事務局	
	19日	第2回正・副会長会/第2回役員会/第1回権利擁護委員会会合	神戸市	県知協事務局/兵庫県福祉センター	
	26日	のじぎくスポーツ大会反省と意見交換会	神戸市	兵庫県福祉センター	
	29~30日	全国施設長会議	東京都	国際フォーラム	
	7月	8日	第2回守る会(福祉7団体)打ち合わせ会	神戸市	県知協事務局
		15日	第3回正・副会長会	神戸市	県知協事務局
30日		緊急施設長等研修会	神戸市	兵庫県福祉センター	
31日		近畿地区会長会/市知連施設長会	神戸市	神戸市勤労会館/あすてっぷ KOBE	
8月	6日	日中活動支援部会研修会	神戸市	兵庫県中央労働センター	
	12日	第3回役員会	神戸市	兵庫県福祉センター	
	17日	第4回正・副会長会	神戸市	県知協事務局	
	24日	全国グループホーム等研修会	仙台市		
	31日	児童発達支援部会会合	神戸市	兵庫県福祉センター相談室	
9月	7日	【臨時】正・副会長会	神戸市	県知協事務局	
	9日	支援スタッフ委員会会合	神戸市	県知協事務局	
	10日	近畿地区第2回役員会	神戸市	ANAクラウンプラザホテル神戸	
	14日	【臨時】役員会	神戸市	兵庫県福祉センター	
	18日	第5回正・副会長会	神戸市	県知協事務局	
	19日	児童発達支援部会研修会	神戸市	兵庫県福祉センター	
	30日	平成27年度「福祉の集い」	神戸市	神戸メリケンパークオリエンタルホテル	
10月	2日	第4回役員会	神戸市	兵庫県福祉センター	
	7日	相談支援部会情報交換会	神戸市	兵庫県福祉センター	
	8日	【緊急】正・副会長会	神戸市	県知協事務局	
	9日	全国スポーツ大会和歌山大会結団式	神戸市	兵庫県中央労働センター	
	13日	近畿地区地域支援部会会合	神戸市	県知協事務局	
	14日	第6回正・副会長会	神戸市	県知協事務局	
	14~16日	全国知的障害関係施設職員研修会	高知県		
	21~22日	第4回全国生産活動・就労支援部会職員研修会(三重大会)	津市	三重県総合文化センター	
	23日	第59回兵庫県知的障害者福祉大会	養父市	養父市立八鹿文化会館	
	24~26日	全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」	和歌山県		
	26~27日	全国知的障害児発達支援施設運営協議会	鹿児島県		
	29~30日	神戸地区(市知連)県外研修	神奈川県		
	30日	第64回兵庫県社会福祉大会	三木市	三木文化会館	

予 告

平成 27 年度 生産活動・就労支援部会  
施設長及び職員研修会

と き：平成 27 年 12 月 15 日 (火)  
と ころ：あすてっぷ神戸  
(神戸市男女共同参画センター)  
2階 セミナー室 1

平成 28 年賀詞交換会

と き：平成 28 年 1 月 20 日 (水)  
と ころ：神戸メリケンパークオリエンタルホテル

## 訃報

平成 27 年 10 月 8 日、午前 1 時 27 分に一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会の金井敏事務局長（68 歳）がご逝去いたしました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## お別れの言葉

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会  
会長 蓬萊 和裕

金井さん、いや、局長と呼ばせて頂きます。いいですね。十月七日、「局長が倒れられ、今、救急車で病院に搬送されています。予断を許さない状況です。」と連絡を受けましたが、「局長びっくりしましたよ、ゆっくり休養して、一日も早く復帰してくださいよ」と、病室で話ができるものと思っていましたが、まさか、こんな結果になろうとは思いませんでした。人は、人生の幕を下ろすとき、瞬時に一生涯を振り返ると言います。局長、協会での活動も振り返って頂きましたか。

局長は、平成二十年に、協会の事務局体制の強化を図る為に、専従の事務局長として就任して下さいました。就任後は、八面六臂の活躍で、兵庫県母子会館と兵庫県福祉センターへの二度に渡る事務局移転。平成二十一年から二十二年の二期に渡る「触法障害者地域移行支援事業」の調査研究。平成二十三年の一般社団法人化。東日本大震災への支援事業。平成二十四年の協会設立五十周年記念事業と記念誌の発刊等々、様々な課題の解決に尽力して下さいました。協会事業が、滞りなく実施できたのは、局長の存在があったことです。本当に、すごい人ですよ局長は。会員誰もが認めるところです。平成二十六年には近畿地区知的障害者施設協会の事務局も兼務して頂きました。今、局長の業務を振り返るにあたり、局長が自らの手で取りまとめられた五十周年記念誌の中の『五十年史（設立時より今日に至る施設協会の歩み）』を参考にしました。局長の甲辞を書く為にこのページを繰るなんて、本当に悲しいです。辛いです。

余り、ご家庭のことをお話にならない局長でしたが、五十周年の記念事業の一環として行った研修は、韓国の障害者福祉の現状視察でした。お嬢様とご一緒に行かれたはじめての海外旅行が韓国であったことから、研修の計画立案の段階から、お嬢様との旅行を重ね合わせて、本当に嬉しそうに韓国の様子を話されていたことを思い出しました。お孫さんのさくらちゃんが誕生されてからは、話題は当然、さくらちゃん一辺倒です。お孫さんの折々の写真を撮り、事務員に自慢されていたそうです。「もう、這い這いしよんや、もうすぐ立つで」といいおじいちゃんぶりだったそうです。

十月十四～十六日「全国知的障害者関係施設職員研修会」・十月二十一～二十二日「第 4 回全国生産活動・就労支援部会研修会と作品展」十月二十三日「第五十九回兵庫県知的障害者福祉大会」…十二月二から三日「第

三十八回近畿地区知的障害関係施設長等会議」…十二月十から十一日「平成二十七年度全国会長・事務局長会議」十二月二十一日「近畿地区会長事務局長会議」、これは、局長のスケジュール帳である大きなカレンダーに書かれてあった予定表の一部です。「局長、まだまだ仕事が残っていますよ。休んでなんかおれませんかよ」、「会長、私、もう疲れましたわ、次の局長、早う探してくださいよ」、と言われたとき、「局長、辞める時は、一緒に辞めるんやで」、と、約束したじゃないですか。それなのに、辞表も出さずに、自分で全ての幕を引くなんて、曲がったことが大嫌いな局長がすることではありませんよ。それに、まだだれも、退職を許してはいませんよ。しかし、もう、「会長、今少しお時間よろしいですか」、という電話の声は聞けなくなってしまいました。自筆の達筆で端麗に書かれたファックスの表書きの文章も、これからは読むこともできないのですね。

戻ってきてくださいとは言いませんが、これからの協会の課題として局長と話した、協会の組織強化が実現できるように、これからも私たちの活動を見守っていいてください。本当ご苦勞様でした。ありがとうございました。

さようなら。

